

提出日 2025 年 9 月 30 日

海外留学報告書

【参加者A】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	2	年
プログラム名	海外施設研修					
留学期間	西暦 2025 年 9 月 7 日 ～ 2025 年 9 月 12 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	台湾	留学先大学名	中山医学大学			

1. 留学した理由、目的・目標 （※200字以上）	理学療法学部2年の私は、国際的な視野を広げたいと思い台湾へ6日間の短期留学に行くことを決意しました。目的は海外に行き、日本では味わえない異文化に触れることと、台湾の理学療法士の現場を実際にこの目で見ることでした。目標は現地の理学療法を学び、自分の学びに活かすことと、現地の方々と積極的にコミュニケーションをとることでした。現地の学生との交流や医療の現場に触れることで日本との違いを実感し、多くの刺激を受けました。この経験を今後の勉強や将来の進路選択に役立てたいと考えています。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など） （※200字以上）	授業では座学もありましたが、見学実習が多かったです。特に、現地の最新の医療機器を実際に使って体験することが多かったです。また、入院患者のリハビリを実際に見ることもできました。言語は基本的に英語でしたが、中国語をアプリで日本語に翻訳して自動音声に読ませてくれました。質問などは翻訳アプリを使って行いました。授業の後は、現地の学生たちが台中市内を案内し、食事などにも連れて行ってくれました。5日目は朝から夕方の解散まで、付きっきりで案内してくれました。
3. 留学の成果 （・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など） （※300字以上）	今回の6日間の台湾施設研修では、目標にしていた「異文化を理解し、人との交流を通じて自分の視野を広げること」を達成できたと感じています。現地の学生同士では主に、日常生活や大学生活について話しましたが、その中で価値観や考え方の違いを知ることができ、とても新鮮でした。また、大学や施設での見学の際に、台湾の理学療法士の現場を見て体験する機会があり、日本との違いや共通点を発見できたのも大きな学びになりました。特に、理学療法士さんの患者さんへの接し方や学生の学びへの姿勢からとても刺激を受け、自分の普段の学習態度などの取り組み方を大きく見直すきっかけになりました。短期間でしたが楽しく有意義で、自分の成長を実感できた経験でした。今後の勉強にもこの気づきをしっかり活かしていきたいです。
4. 留学経験を今後、どのように 活かしますか （※200字以上）	今回の台湾留学で得た経験を、今後の学びに活かしたいと考えています。文化や価値観の違いを知ったことで、柔軟に物事を捉える姿勢を大切にしたいと思いました。また、理学療法士の現場を実際に見学する中で、日本との違いや共通点を知ることができ、自分の知識の幅を広げるきっかけとなりました。さらに、言葉の壁を越えて現地の方々と交流できた経験は自信につながり、将来患者さんや様々な職種の方たちと関わる際のコミュニケーションにも必ず役立つと感じています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者B】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	2	年
プログラム名	海外施設研修					
留学期間	西暦 2025 年 9 月 7 日 ～ 2025 年 9 月 12 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	台湾	留学先大学名	中山医学大学			

1. 留学した理由、目的・目標 （※200字以上）	今回留学した理由は、単純に海外に行きたいと思ったことと海外で勉強してみたいと思ったことです。普段は教科書や実習での学習が中心ですが、日本とは文化の違う国の医療やリハビリを直接見てみたいと思いました。日本語の少ない生活を送ることで、自分がいかに英語ができないかを実感し少しでも英語を勉強しようと思えたらしいというのが今回の目標でした。友達と先生だけで6日間過ごすことはなかなかないし、海外に行くこともあまりないので病院実習はもちろんですが、大学生生活の良い思い出を作りたいと思いました。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など） （※200字以上）	授業はほとんど英語でなんて言っているのか全然わかりませんでしたが、翻訳を使ったり、先生や友達に教えてもらったりしてきちんと理解することができました。座学が思っていたより少なく、見学リハビリ体験が多くてうれしかったです。自費診療の見学では最新の技術を使ったリハビリの体験ができました。友達以外での会話や周りから聞こえてくる会話、看板が全部英語か中国語でまだ慣れていない1日目はとても疲れました。2日目以降は耳が慣れてきて大分楽になりました。夜はみんなで部屋に集まって、部屋を暗くして怖い動画を見たりトランプやジェンガをしりました。地域視察の前日の夜に、現地の学生に案内してもらって夜市に行きました。小籠包を食べ、マンゴージュースを飲み、美味しく楽しかったのですが、おなかを壊しました。病院研修が終わった後でよかったです。
3. 留学の成果 （・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など） （※300字以上）	私は英語が全くできなくて中学英語くらいまでが限界です。正直に言うと、ずっと日本に住んでいれば英語ができなくても大丈夫だし、しなくてもいいと思っていました。でも今回台湾に行ってみて先生が通訳をしたり、話しているところを見て英語ができるようになりたいと思いました。できるようになりたいと思っただけで、今回台湾に行ってきたと思います。大学ではまだ物理療法や小児リハについてあまり触れていないので、今までスポーツ関連や訪問リハにしか興味がありませんでしたが、今回の研修で小児リハと物理療法に興味を持ちました。小児リハの存在を今回の研修で初めて知りました。私はキッズ体操教室でバイトをしていたり、小さい子が好きなので小児リハの道も考えてみようかなと思いました。まだ大学で勉強していないだけかもしれませんが、台湾はゲームを使ったリハビリが多くて患者の人も楽しみながらリハビリができています。ゲームを使ったリハビリが物理療法なのかはよくわかりませんが、物理療法にも興味がわきました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか （※200字以上）	理学療法評価学演習の授業でICF(国際生活機能分類)について説明があり、その時にICFブラウザの話になりました。中山医学大学の授業でICFブラウザが出てきたからわかりましたが、台湾に行っていなかったら多分何の話をしているのか全然理解できなくて困っていたと思います。まだ帰ってきて二週間くらいしか経っていないのに、もう経験を活かせました。また、今回の経験を活かしてこれから先台湾に行くことがあったとしても、夜市の食べ物や飲み物は控えるようにしようと思いました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 10 月 3 日

海外留学報告書

【参加者C】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	2	年
プログラム名	海外施設研修					
留学期間	西暦 2025 年 9 月 7 日 ～ 2025 年 9 月 12 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	台湾	留学先大学名	中山医学大学			

1. 留学した理由、目的・目標 （※200字以上）	今回の台湾留学の目的は、普段の学びを海外の医療やリハビリの現場と比較し、自分の視野を広げることでした。また、授業や実習だけでなく、現地の学生や先生と交流することで、国や文化を越えたつながりを持つことも目標にしました。日本にいと当たり前に感じていることも、台湾では違う考え方や工夫があり、その違いに触れることで新しい発見ができるのではないかと期待していました。医療の知識だけでなく、異文化の中で柔軟に対応する力も身につけたいと考えて臨みました。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など） （※200字以上）	台湾では小児リハビリや呼吸リハビリの見学を行い、実際に患者さんに関わる場面を近くで学ぶことができました。また、大学では台湾の学生と一緒に授業を受けたり、ディスカッションを通じて意見を交換したりしました。観光では夜市や博物館、歴史ある建物を訪れ、台湾の文化や暮らしを肌で感じることができました。さらに、現地の学生や先生と食事をしながら交流する機会もあり、医療だけでなく日常の考え方や価値観についても知ることができ、とても充実した時間を過ごしました。
3. 留学の成果 （※300字以上） ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	今回の留学で得られた一番の成果は、医療やリハビリは国ごとに背景や文化が違い、その違いを理解することが大切だと実感できたことです。見学した小児リハビリや呼吸リハビリの場面では、日本と似ている部分もありましたが、進め方や雰囲気には工夫や違いがあり、とても新鮮でした。また、言葉の壁はありましたが、英語や中国語を少し使ったり、ジェスチャーを交えて伝えたりすることで、思っていた以上に会話が通じることを体験でき、自信につながりました。さらに観光や食事を通じて台湾の人々の温かさに触れ、文化の違いを受け入れて楽しむ気持ちが身についたと感じています。リハビリの知識だけでなく、人との交流から得た学びも大きく、この経験が自分の考え方や姿勢を広げるきっかけになりました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか （※200字以上）	今回の経験を今後活かすために、まずは普段の学びの中でも「他の考え方に目を向ける姿勢」を大切にしたいです。台湾での実習を通じて、リハビリの方法や患者さんとの関わり方にはいろいろな可能性があると思いました。そのため、これからは一つのやり方にとらわれず、より柔軟に考えられるようにしていきたいです。また、異文化交流の楽しさを知ったことで、将来は国際的な場面でも活躍できるように語学やコミュニケーション力を伸ばしていきたいです。今回の留学で得た自信や気づきを今後の学びや臨床にしっかりとつなげていきたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2025 年 9 月 26 日

海外留学報告書

【参加者D】

所属	リハビリテーション	学部	理学療法	学科	2	年
プログラム名	海外施設研修					
留学期間	西暦 2025 年 9 月 7 日 ～ 2025 年 9 月 12 日（約1週間）					
留学先 （国・地域）	台湾	留学先大学名	中山医学大学			

1. 留学した理由、目的・目標 （※200字以上）	私が台湾研修に参加した理由は2つあります。1つは海外に行ってみたいという興味からで、台湾の大学に通っている知り合いがおり一度訪れたいと思ったことです。もう1つは、日本と台湾の医療やリハビリ機器の違いを知りたいと思ったからです。昨年台湾に行った先輩方の報告を聞き、私も実際に機器を体験したり先生や学生との交流を通して学びたいと感じました。この研修で多くの方と関わり、台湾の理学療法士の姿を学ぶことを目標としました。
2. 現地での活動内容 （授業や生活面など） （※200字以上）	1日目はバスで近くの病院を訪れ、院内を案内していただいた後、小児科の見学を行いました。整形外科ではリハビリ機器の体験や、患者さんの筋の触診、ROM（関節可動域）の確認をさせていただきました。2、3日目は大学での講義と附属病院での見学研修に参加し、療法の説明や機器の体験、入院患者さんのMMT（徒手筋力テスト）の確認、リハ前後の心電図の変化の観察を行いました。講義は翻訳を用いて進められましたが、病院では英語での説明を受けました。授業後は現地の学生にホテル周辺を案内してもらったり、一緒に食事をしたりしました。
3. 留学の成果 （※300字以上） ・目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など	この研修を通して、現地の学生と積極的に交流し、先生や大学院生に質問することができました。言語が異なる環境下で学ぶことは精神的に辛い場面もあり、説明を理解するのに苦労し正確に把握できず自分の語学力不足を感じました。ですが翻訳に頼らず、知っている英語や中国語で会話することで自分の力を試し、多くの人と関わることができました。今ではもっと英語を学んで国際的なことにもふれていきたいと思っています。また、実際に台湾の理学療法学生が患者さんへリハビリを行う場面を見学し、知識の豊富さや運動療法への理解の深さを実感しました。今の私たちの学力では分からないことが多く、これからの授業でよりたくさんの知識を身につけていき将来に活かしたいと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように 活かしますか （※200字以上）	異なる言語環境で学んだことでコミュニケーション能力が向上し、もっと英語を学びたいという意欲が高まりました。今後は外国人患者さんへの対応や他職種の連携に活かし、海外のリハビリ方法や考え方を取り入れながら、国際的に活躍できる理学療法士を目指したいです。また、見学実習では小児リハや自費診療に興味を持ったので、将来の専門分野に発展させたいと思いました。そのためにもたくさんの知識を身につけられるよう積極的に勉強に取り組んでいきたいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム 参加者へのアンケート（参加前/参加後共通）

回答者は以下の各項目について、それぞれ1～5のいずれかを選び回答する。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 全くあてはまらない | 4. だいたいあてはまる |
| 2. あまりあてはまらない | 5. よくあてはまる |
| 3. どちらでもない | |

1. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができている。
- 海外留学プログラム／GC 体験プログラムの目的を理解している。
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。
- これからの就職活動について自信がある。
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。

2. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

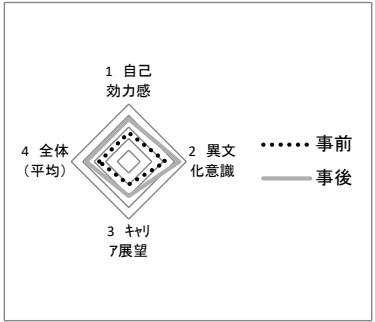
- 自国とは異なる文化に理解をもっている。
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。
- 自国文化について相手に伝えることができる。
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。

3. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。
- 自分が就きたい仕事が明らかになっている。
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。
- 国際的な仕事に関心を持っている。

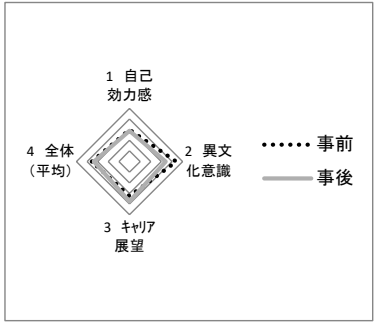
【参加者A】

	事前	事後
1 自己効力感	2.5	3.7
2 異文化意識	3.2	4.4
3 キャリア展望	2.0	3.0
4 全体(平均)	2.6	3.7



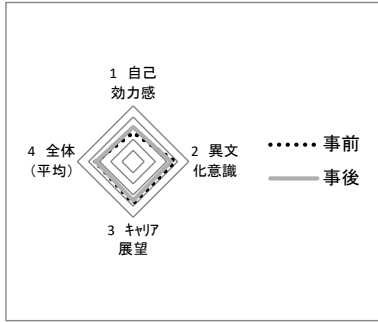
【参加者B】

	事前	事後
1 自己効力感	3.0	2.9
2 異文化意識	4.4	3.4
3 キャリア展望	3.3	3.8
4 全体(平均)	3.6	3.4



【参加者C】

	事前	事後
1 自己効力感	2.6	3.1
2 異文化意識	3.8	3.4
3 キャリア展望	3.8	3.5
4 全体(平均)	3.4	3.3



【参加者D】

	事前	事後
1 自己効力感	3.4	4.2
2 異文化意識	4.8	4.8
3 キャリア展望	3.5	5.0
4 全体(平均)	3.9	4.7

